

報第 11 号

令和 7 年度神奈川県教育委員会表彰（神奈川県学校給食優良学校等表彰）について

令和 7 年度神奈川県教育委員会表彰（神奈川県学校給食優良学校等表彰）について、神奈川県教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則第 2 条第 2 項の規定により事務を臨時に代理し、次のとおり被表彰校を決定しましたので、同規則第 2 条第 3 項及び教育委員会の指示事項の 1 の（3）の規定に基づき報告します。

令和 7 年 9 月 2 日提出

神奈川県教育委員会

教育長 花 田 忠 雄

令和7年度神奈川県学校給食優良学校等表彰被表彰校一覧

1 令和7年度神奈川県学校給食特別優良学校（1校）

学 校 名	学級数	概 要
横浜市立 本牧南小学校	12	【学校の運営体制】 ○ 管理職のリーダーシップのもと、学校栄養職員を中心とした組織的な食に関する指導が実践されている。 【創意工夫ある取組】 ○ 地域が漁場である環境を活かし、海苔を食材に取り入れる等、郷土食・行事食を取り入れた独自の献立を「生きた教材」として活用し、食育と地域文化の継承に力を入れている。 ○ SDGs の観点から、地域の漁港からの未利用魚を取り入れたり、出汁殻の削り節・昆布でふりかけや佃煮を作ったりして給食に提供している。 ○ 「食のSDGsに視点を充てて」という主題で、校内重点研究として教職員全体で研究を深めている実績が見られた。 ○ 学校司書と連携し、読み聞かせの本に登場する料理を給食に取り入れ、食を通じて心と体を育む学びを実践している。 ○ 近隣の幼稚園児や保育園児と5年生が交流する給食会食や、1・6年生、2・4年生、3・4年生のペア学年での会食など、交流給食を実施している。

2 令和7年度神奈川県学校給食優良学校（7校）

学 校 名	学級数	概 要
横浜市立 金沢小学校	19	【学校の運営体制】 ○ 管理職のリーダーシップのもと、栄養教諭を中心とした組織的な食に関する指導が実践されている。 【創意工夫ある取組】 ○ 給食に区内産（穴子、わかめ）や市内産の多様な食材を取り入れている。 ○ 給食委員会の児童による給食の感想を年間通して学校ホームページで紹介し、家庭や地域にその様子を発信している。
相模原市立 藤野小学校	8	【学校の運営体制】 ○ 栄養教諭と担任による給食に関連づけた教科での食による指導の他、学級活動でも食育の授業を行っている。 【創意工夫ある取組】 ○ 郷土料理や地場産物を活用した献立の作成、相模原市のイベント給食の実施や行事食の提供、6年生が家庭科で考案した給食の提供、給食委員会児童による献立説明を給食時間に校内放送で毎日実施している。
藤沢市立 明治小学校	31	【学校の運営体制】 ○ 栄養教諭が中核となり、食に関する指導の全体計画のもと学校全体で食育の推進が継続して図られている。 【創意工夫ある取組】 ○ 地場産物の活用として、地域の生産者とながり、教科と連携して児童が食材の収穫を行い、給食に提供するなど、生産者の顔の見える学校給食を実施している。 ○ 児童が育てた「もち米」を、児童と相談して献立を考え、収穫祭として給食で提供している。
逗子市立 小坪小学校	15	【学校の運営体制】 ○ 学校教育活動全体の中で、学校給食の運営体制は整備されており、食に関する指導に関しても学校栄養職員を中心に学習指導案を作成するなど、食育指導が適切に実施されている。 【創意工夫ある取組】 ○ 近隣には漁港があり、漁師・地元事業者と連携しながらアオリイカに関する取組を実施している。 ○ 特産品の小坪産ワカメの種付けから収穫までを体験し、収穫したワカメを給食で提供する取組を実施している。

学 校 名	学級数	概 要
厚木市立 上依知小学校	15	【学校の運営体制】 ○ 学校栄養職員や教諭を中心に、食に関する指導を実施している。 【創意工夫ある取組】 ○ 収穫したもち米やさつま芋を学校給食で提供するほか、月に5回程度、市内で収穫された野菜や米、津久井在来大豆を積極的に学校給食に取り入れる等している。 ○ 読書月間と合わせて、「おはなし給食」や「リクエスト給食」、6年生を対象とした「卒業バイキング給食」など特色のある給食を実施している。
開成町立 開成小学校	18	【学校の運営体制】 ○ 学校教育活動「成長する心グループ」と栄養教諭が核となり、学校の創意工夫による学校給食指導、食育指導を推進している。 【創意工夫ある取組】 ○ 「国語とコラボ給食」や地域の行事に合わせた給食など、工夫したメニューを開発し、子どもや保護者の食への興味関心の向上及び食育指導に取り組んでいる。 ○ 食材の表示や調理方法を工夫し、アレルギーを持つ児童にも安心して給食が提供できるようにしている。
神奈川県立 鎌倉支援学校	53	【学校の運営体制】 ○ 栄養教諭をはじめとした多職種が連携し、健康や安全に十分配慮したうえで、食に関する指導を行っている。 【創意工夫ある取組】 ○ 摂食嚥下機能が未発達な児童生徒への配慮食の提供、食物アレルギーへの対応、栄養注入等の医療的ケアへの対応等、児童・生徒の健康面や安全面に十分留意したうえで、給食提供や食育を実施している。 ○ 月1回程度、神奈川県産の食材を使用するとともに、地産地消の取組について、給食だよりや当日の配付資料等、多方面から紹介している。

神奈川県学校給食優良学校等表彰の概要

1 趣旨

学校給食の普及と充実を図るため、学校給食実施上優れた成果をあげてきた学校及び共同調理場を学校給食優良学校等として表彰する。

2 開始年度

昭和31年度

3 表彰の対象

学校給食法（昭和29年法律第160号）に基づく学校給食（完全給食）を実施している義務教育諸学校及び義務教育諸学校の学校給食の業務を行っている共同調理場とする。

ただし、文部科学大臣表彰学校給食優良学校等として過去10年以内に表彰されたことのある学校等は除く。

4 表彰の基準

- 表彰校数は、完全給食実施校のおおむね100校に1校、共同調理場にあつては、20場に1場の割合とする。
- 学校教育活動全体の中で、学校給食の運営体制が整備され、そのもとに学校給食指導、食育指導、栄養管理、衛生管理が適切かつ、学校や共同調理場独自の創意工夫による取組により実施され、その教育的効果が顕著であることが認められるなど、県内で他の学校等の模範となるものであること。

なお、共同調理場については、以上のほか労働安全に万全を期し、作業効率を高める業務運営を図り、また、学校への配送等に当たっては適切な配慮をするなど、学校との相互連携により実施していること。

5 被表彰校の一覧（過去10年間）

別紙1「神奈川県学校給食優良学校等表彰受賞校一覧」のとおり

6 審査手続及び今後の予定

別紙2「神奈川県学校給食優良学校等表彰の審査手続について」のとおり

(別紙1)

神奈川県学校給食優良学校等表彰受賞校一覧＜過去10年＞

区分	神奈川県表彰受賞校等										
	横浜市	川崎市	相模原市	横須賀市	湘南三浦	県央	中	県西	私学	県立	共同調理場
H27	上寺尾小		大沼小	武山小			勝原小 (平塚)			高津養護	
H28	嶮山小		相武台小	鷹取小		厚木小 (厚木)	港小 (平塚)			横浜ひなたやま支援	
H29	日枝小		光が丘小	望洋小		半原小 (愛川)	山下小 (平塚)			中原養護	
H30	いぶき野小		清新小	走水小						小田原養護	
R1	宮谷小		上溝南小	池上小		荻野小 (厚木)				瀬谷養護	
R2	大岡小 間門小		若松小					片浦小 (小田原)		三ツ境養護	
R3	小机小					中津第二小 (愛川)					
R4	黒須田小	犬蔵中	新宿小					曾我小 (小田原)		相模原中央支援	
R5	井土ヶ谷小		大野北小			依知南小 (厚木)	崇善小 (平塚)			あおば支援	川崎市南部 学校給食セ ンター (川崎)
R6	港北小									岩戸支援	
	都田西小										

はその年度の学校給食特別優良学校等

神奈川県学校給食優良学校等表彰の審査手続について

○ 審査手続

6～7月

4市教育委員会教育長、4教育事務所長等からの推薦



8校

7～8月

事務局における審査
審査項目ごとに到達目標を基準とした審査

8校

表彰審査会
保健体育課長を委員長として表彰基準に基づき審査

1校

「学校給食特別優良学校」
(教育長委任事項)

7校

「学校給食優良学校」
(教育長委任事項)

1校



7校

教育委員会への報告

文部科学大臣学校給食表彰の推薦
(翌年1月頃)